



受け継がれていく 「最上町音頭」

お盆と言えば盆踊り！8月14日、向町地区で行なわれた「盆の市」で最上町音頭保存会の皆さんと一緒に、子どもたちがステージで踊りました。最終ページのフォトスナップにも載せています。

協働のまちづくり懇談会

～課題に対する町の考え～ P. 2～3

8月号の目次

きらり最上の子どもたち	P. 4 ～ 5
ウェルネスメッセージ	P. 6 ～ 7
まちトピ	P. 8 ～ 11
くらしの情報	P. 14 ～ 17

協働のまちづくり 懇談会を開催しました

●参加者延数 161人

3年ぶりの開催となった本懇談会は、町民の皆様と行政が意見交換を行い、その声を町の政策に反映することを目的とし、旧小学校区を単位に町内7会場で開催しました。各会場で話題になったことや、懇談会を開催するにあたって事前に集約した地域課題の中から、多くの地域に関わるようなものを抜粋してご紹介します。

担い手

◆寄せられた課題

コロナなどの問題もあり、祭りや伝統行事、集落行事等の継承が難しくなってきた。担い手を見つけるのに苦労している。

◆町の考え

担い手

コロナ禍前は小学校児童のふるさと学習の一環で、地域の方々から伝統文化等の指導や実演をしていただいていた。各種行事が再開されつつある中で、大人と子どもと一緒に、伝統芸能等へ触れる機会が増え、結果として担い手の育成に繋がればと期待しています。

子ども

◆寄せられた課題

小学校が統合されたことや、少子化の影響から地域で子供を見る機会が少なくなった。それに伴い、子ども達が参加する行事も少なくなり、地域の活気がなくなっている。育成会等の活動も少なくなった。

◆町の考え

少子化対策

全国的に少子化が進んでおり、当町の出生数も令和2年度以降、年間20人台と予想以上に深刻化しています。学校の統合で地域に子どもの姿がなくなったという声も多く聞かれ、様々な地域活動に支障をきたしているものと考えます。少子化の背景には、(一)

◆町の考え

移住支援

進学や就職等をきっかけに町外へ転出する若者が多く、人口減少が進んでいる一方、コロナの影響により地方移住への関心が高まっているとともに、リモートワークなど働き方についても大きく変化しています。こうした中、移住希望者が抱える移住への不安を軽減するためにも、移住支援策や就労、生活に関する情報を発信していくことが重要であると考えております。

関係人口の増加

「関係人口」をいかに増やしていくかが重要な力ギとなります。関係人口が増えることで裾野が広がり、移住・定住につながる可能性も高くなるものと思われまます。すぐに移住には結びつかないとしても、何度が当町に足を運んでいただくことで、町の魅力に触れ、町の良さを知っていただき、将来的に移住・定住に結びつくような仕組みづくりが必要かと考えております。そのためにも、お試し体験住宅を確保し、短期間滞在しながら様々な体験を通して、移住・定住につながるよう取り組んでいきます。

◆寄せられた課題

移住定住

人口減少を抑制するためにも、移住定住にむけた地域の魅力づくりが必要なのではないか。

◆町の考え

高齢者の見守り

単身高齢者、高齢者夫婦世帯等については民生委員が訪問を行っています。重篤な症状になりうる持病のある方については「緊急通報システム事業」で、認知症による徘徊の恐れのある方については町に登録する「おかえり安心登録事業」で支援しています。令和4年度は地域のネットワークづくりのため、区長、民生委員、健康福祉推進員、社会福祉協議会、町が参加した「ネットワークづくり検討会」を開催しました。今年度も継続して開催する予定です。地域での見守りや災害時の避難支援などについても、地域全体で検討していく予定です。

様々な支援

除雪支援としては、軽度生活支援事業があります。社会福祉協議会では、有償ボランティアの間口除雪サービスを行っています。そのほか、地域内で除雪支援を行っている集落も出てきています。

買い物支援つながらる移動販売などの事業については、他自治体において人口が一定程度集中した地域では、民間主体の取り組みが広がりを見せています。当町でも買い物支

間口除雪を含め地域を支える人材の確保は、重要な課題と捉えています。間口除雪にご協力いただいている方は、重機を使つての作業やスノーダンプでの作業など様々です。間口除雪は、ボランティアの方から協力いただきやすい形で行われることで、より取り組みやすいものになると考えます。

防災

◆寄せられた課題

消防団員の減少により、有事の際が心配。国道47号が通行止めになった場合はどうなるか。

◆町の考え

消防団再編

消防団員数の減少により、分団の再編は喫緊の課題となっております。まずは、消防団活動や運営に支障を来たす部を中心に、他の部との統合について検討していきます。併せて、団員の負担軽減を図りながら、活動しやすい環境づくりに取り組んでいく必要があります。

災害に強い交通網

過去の豪雨災害時に、長沢

援に対する住民ニーズの把握を進めながら、継続性のある事業が推進できるよう、支援方法や企業への協力依頼について方向性を検討して参ります。町や社会福祉協議会では、移動支援を含めたボランティアの研修を行っており、地域の中で支援に向けて動き出している団体も出てきています。

最後に

本懇談会を開催するにあたり、特に地域の課題集約においては、区長や公民館長を始めとした様々な方々にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。この紙面では最上町全体に関わるようなものをご紹介しましたが、その他のご意見等に対する町の考えは、町のホームページに掲載いたします。

このページに関する問合せ

総務企画課まちづくり推進室
☎4312261

下記QRで「カムロ窯」のInstagram、X（旧Twitter）、Facebookを見ることができます！



Instagram X (旧 Twitter) Facebook

地域おこし協力隊通信

カムロ窯での新しい取組み 限定販売の器と「絵付け体験」



こんにちは！
今月号は秋元がお伝えします！

最近、マルシェへの出店・カムロ窯の経営などを行ないながら、新しい事にも取り組んでいます。昨年、鮭川村の地域おこし協力隊の方と制作してきたコラボ器もついに完成しました。出来上がった器は青緑色の釉薬と鮭のデザインを特徴としており、鮭川村内限定で販売する予定です。



鮭川村で販売予定の器



絵付け体験の器

また、カムロ窯では新たに「絵付け体験」を始めました。素焼きしたお皿に、数種類から色を選んで自由に絵を描くことができます。従来の体験より子供からお年寄りまで気軽に体験することができ、是非サロン活動などにご利用ください。

今後は、10月に仙台市のイベントへの参加、依頼頂いた器の制作などを予定しています。SNSでも発信しておりますのでぜひご覧ください。

集 落 支 援 員 だ よ り



大堀地区
井上 あゆみ 支援員

大堀小と集落をつなぐ懸け橋へ

大堀小学校には地域住民、先生、教育委員会が構成されている学校運営協議会があります。協議会では、地域に開かれた、地域と共につくる学校を目指した取り組みを進めています。

以前の会議で、実習等において地域の方からの協力があると、子どもたちにとってより良い授業内容になるのではという意見が出されたことから、「地域人材協力者事業」という名称で協力者の募集を行いました。

事業開始から3年が経った現在、地域の協力者が30名になり、家庭科の裁縫や調理実習、図画工作の授業にご協力いただいております。「孫が小学校を卒業して、なかなか学校に来る機会がなかったから、すごく楽しかった。」との感想もいただいています。

また、授業の支援の他、先生方と子供たちだけではなかなか手の回らない畑の管理についても「畑楽会（はたらくかい）」が結成され、地域の方による新たな支援が始まっています。今後、集落支援員として、少しでも学校と地域をつなぐ役割を担ってきたいと思っています。

温水プールを利用した 水泳授業で生涯スポーツの充実を目指して！

屋内プールの メリット

7月に入ると、町内の小学校では、水泳の授業が開始されます。これは、小学校の「学習指導要領」に基づき、水泳が必修とされているからです。10数年ほど前は、各小学校に設置されていた屋外のプールを利用していましたが、児童数の減少や管理の大変さなどの理由から、町内の全小学校で西公園の温水プールを使うようになりました。

町民の健康づくりや体力向上のため、オールシーズンで泳げる町営の屋内温水プール（以下「温水プール」）が完成したのは昭和61年。当時は、公営で温水プールを設置している自治体は少なく、小さな町の大きな取り組みとして一躍注目を浴びました。

現在でも、安価で利用できる親しみやすい温水プールは大変人気があり、町民のみならず、町外の皆様をはじめ高校などの水泳部の練習でも活用され、一昨年のパラリンピックに出場した選手も利用していたそうです。今回のシリーズでは、温水プールの活用と、水泳授業がどのように子どもたちの成長に関わっていくのかをお伝えします。

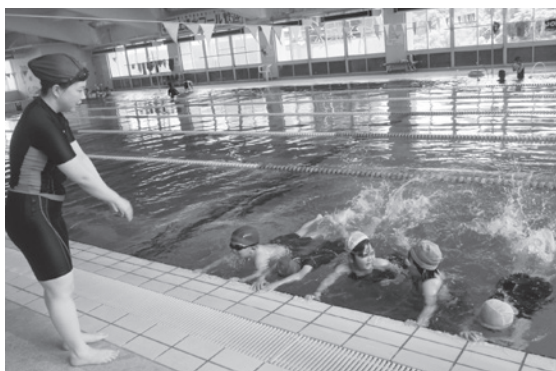
水泳授業の内容

次に、授業の内容について紹介します。低学年では「水遊び」を中心として、水の中



ようになりました。一般的に、学校のプールは屋外に設置されていることが多く、雨降りや、寒い日は授業ができません。移動に時間がかかっても、屋内のプールで泳ぐことのできる最上町の小学生は、天候に左右されることなく授業ができるため、恵まれた環境で計画的に水泳ができます。

温水プールを活用するメリットは、何と言っても水質と水温の管理を徹底することで、子どもたちの衛生面や体調面を配慮できることです。この温水プールによって唇を青くして授業を受けている児童は、見られなくなりました。



を歩いたり、もぐったり、浮いたりする心地よさを感じるような授業を行なっています。また、陸上とは違う水の抵抗を感じ、水中で息を止めたり吐いたりすることで水に慣れるための訓練の一つとしても行なわれています。

中学年は、「水泳運動」として、低学年よりもレベルアップし、ビート板を使ったバタ足などの浮いて進む能力や、もぐったり浮いたりすることで安定した呼吸法を身につけます。

高学年になると「クロール」や「平泳ぎ」の泳法に挑戦し、自分自身で泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばすなど、記録に挑戦します。

このように学年を重ねるごとに成長していくには、計画的に継続していくことが大切です。

水泳は生涯スポーツ

学校の授業として必修となっている水泳は、子どもから高齢者まで行なえる生涯スポーツとして、高い人気を得ています。水の浮力を利用したの歩行や、泳いで運動は健康増進にも大きな効果があると言われています。

「もがみ西公園スポーツクラブ」では春、秋の2回「子ども水泳教室」を開催し、毎週水曜日と土曜日に、それぞれ1時間程度の内容で10回のクラブ活動を実施しています。

この水泳教室が、天候や季節に関係なく開催することができるのは、温水プールがあるからこそです。最上地区唯一の公営の温水プールは町の宝であり、自慢できる施設の一つです。

町では、夏休み中子どもたちに無料開放しています。温水プールを利用し、子どもたちの泳力を伸ばして、生涯スポーツとして水泳が楽しめるようになってほしいと願っています。

食生活改善推進員養成講座（ヘルシー講座）参加者募集！！

最上町食生活改善推進協議会は、「私たちの健康は私達の手で」をスローガンに、生涯における食を通した健康づくり活動を、地域において推進しているボランティア組織です。地区の活動に出向き、調理実習や食の健康の講話を実施しています。現在、39名で活動をしています。

写真は、会員のスキルアップを図るため、調理実習を通して衛生管理等の研修会を行った時の様子です。今後も、学んだことを活かし、サロン等の地区活動に出向いて、食を通した健康づくり活動を行っていきます。

一緒に活動してくれる方を養成する「ヘルシー講座」を、右記の6回コースで開催します。参加希望の方は、下記までお申し込みください。申込み締切は9月22日（金）です。ご自身やご家族の健康づくりについて学び、一緒に活動しましょう。

参加料 3,000円

※6回参加できる方のみ募集しています。

〇お問い合わせ 健康づくり推進室（内線607）

～食生活改善推進員の活動紹介～



ヘルシー講座の開催予定

①10月19日（木）	④ 1月24日（水）
②11月22日（水）	⑤ 2月 2日（金）
③12月15日（金）	⑥ 2月14日（水）

100歳おめでとうございます！

お二人の方が100歳を迎え、町より長寿のお祝いが贈呈されました。この度は誠にありがとうございます！

大場 幸男さん（赤倉）



大場幸男さんの一日は仏壇にご飯を上げ、家族の健康を祈ることからはじまり、日中は畑仕事に励み、夕方になれば夕飯づくりをしています。お元気の秘訣を聞くと、「畑に行くこと」とのことです。毎日畑に歩いて行き、野菜作りを楽しんでいます。また、ご家族からみた大場さんは「まじめ」とのことです。日々の出来事をノートに綴ったり、新聞も隅まで読むようにしているそうです。大場さんは、「100歳になって一旦年齢がゼロになったから、これからまた1歳ずつ歳をとるのが楽しみ」と笑顔で話してくれました。

下山 ノリ子さん（若宮）



当日は、お孫さんたちが企画したお祝い会が盛大に行われ、総勢23人の皆さんに囲まれて賑やかに楽しく笑っていらっしやる姿が印象的でした。家族からは、「たくさんの皆さんの支えがあって、元気で長生きしてられました。」と感謝の言葉がありました。下山さんは、玄関掃除をすることが日課で、毎日、家族のためにきれいにしているとのことでした。何でも食べること、散歩を欠かさないことが元気の秘訣だそうです。一番の楽しみは、お孫さん・ひ孫さんたちと会って話をするということですと教えてくれました。

「もっと元気になる講座」 山形大学医学部附属病院 研修医 渡部 尚輝

高血圧を予防しよう～生活習慣の改善～

※令和5年5月23日（火）に行なわれた内容です

み ね さんはご自身の血圧が知りたいとくらくらいが知っていますか。血圧が高い方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は高血圧の予防法等を詳しく教えて頂きました。

血圧とは？

血液には体に必要な栄養や酸素等が含まれています。その血液を全身に送り出すために心臓はポンプの役割をしています。その送り出す力を表しているのが血圧です。

また、血圧には上と下の2種類あることをご存知の方もいるかと思いますが。上の血圧と呼ばれるのが、収縮期血圧、下の血圧と呼ばれているのが拡張期血圧といえます。心臓は膨らんで血液を貯め、縮んで血液を送り出す動きを繰り返しています。この心臓が広がって血液を心臓の中にためている状態を拡張期といい、この時の血圧が拡張期血圧と呼ばれています。また、心臓が収縮して全身に血液を送り出している状態を収縮期血圧と呼んでいます。

高血圧

収縮期血圧が140（mmHg）以上、拡張期血圧が90（mmHg）以上の状態が、高血圧

と呼ばれる。高血圧には、二次性高血圧と本態性高血圧があります。本態性高血圧は、高血圧の9割以上を占め、いろいろな原因がありますが、加齢や食生活、運動不足、喫煙、ストレスが主な原因とされています。

また、高血圧の状態が続くと血管が破れやすくなり脳卒中になりやすかったり、心臓に負担がかかり過ぎて心臓病になったり、さらに動脈硬化が進行すると血管が詰まり腎臓病や血管性認知症になります。

そもそも血圧とは？

収縮期血圧 拡張期血圧

血圧を下げる工夫

血圧を下げる方法として生活習慣を見直すことが大切です。食事面では減塩が重要になります。全体的に薄味にしようと思意識することや、醤油やソースをかける習慣がある人は、醤油を血に出してつけて食べるように

するだけでも大きく変わります。また、味噌汁を具だくさんにする満足感が出ますので、少し薄味にしても満足できると思います。

まとめ

高血圧が続くと様々な病気に繋がる危険性があります。そのため生活習慣を見直し、高血圧を予防することが重要です。減塩を意識することや、カリウムを摂取することを心掛け、食生活を改善していきましょう。

塩分を体外に出すことも大切です。腎臓は血液からおしっこを作り出す働きをしています。カリウムを摂取することで、体に含まれている余分な塩分を、おしっことして体外に出すことが出来ます。しかし、腎臓の働きが悪い人は、体にカリウムがたまり過ぎてしまうので、十分注意が必要です。

カリウムは野菜、果物、大豆製品に多く含まれています。具体的なものとして、バナナやメロン、アボカド、ほうれん草、切り干し大根、納豆等があります。

〇お問い合わせ 健康づくり推進室（内線608）

デジタルで健康長寿大作戦！！「きらり☆光齡者教室」

町では、昨年度よりICT機器（情報通信機器）を活用した介護予防事業に取り組んでいます。今年度はタブレット端末を貸し出し、会場（健康センター）で講習を行ったり、会場と自宅と結んでオンライン形式等で介護予防に取組む教室を開催します。10回シリーズで1回目：6月～9月、2回目：12月～3月までを予定しています。また地区に出向いての教室も行いますので、下記にお問い合わせください。

〇お問い合わせ 地域包括支援センター（内線605）





お試し移住・農業体験を最上町で

7月上旬に関東在住のお二人が町に1週間滞在し、大堀のアスパラ農家さんの元で立茎作業をしながら移住体験を行ないました。これは、広報1月号でお知らせした企画で、T i m e eトラベルが体験者の募集を行ったもので、参加者からは野菜の美味しさ、農家の苦労や人の温かさなど、全てが新鮮で貴重な体験であり是非また来町したいという声をいただきました。

町では今年度、県の「やまがた暮らしプチ体験事業」に参加し、引き続きT i m e eトラベルの協力を得ながら農業以外の事業で同様の企画を実施していきます。繁忙期の雇用確保と共に、関係人口創出に興味のある事業所がありましたら、是非まちづくり推進室までお問い合わせください。

〇お問い合わせ 総務企画課まちづくり推進室 0233-43-2261

国民スポーツ大会実行委員会では大会成功に向けて準備に取り組んでいます

7月21日に、最上町中央公民館にて、「第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会最上町実行委員会第1回宿泊部会」が行なわれました。約20名の関係者が参加し、令和6年2月に開催される国民スポーツ大会ジャイアントスラローム競技選手団の宿泊について話し合われました。選手団は約1,000名の参加が予定されており、町内宿泊施設のほか、新庄市、大崎市への宿泊が見込まれています。

今後も実行委員会を中心に会議を重ね、最上町を全国にアピールできるような素晴らしい大会になるよう、準備を進めてまいります。



▲実行委員会宿泊部会の様子

野菜収穫と川遊び 第3回ワイルドエドベンチャースクール

第3回ワイルドエドベンチャースクールが、7月22日に大場満郎冒険学校と東法田白川ダム周辺を会場に実施されました。内容は野菜収穫と川遊びです。野菜収穫では、2種類のジャガイモがあることを説明し、手が泥だらけになりながら収穫を行ないました。収穫したジャガイモは、町内の高齢者施設に提供することとなっています。その後は、ライフジャケットを着用し、川遊びを行ないました。最初は水が冷たく驚いた児童もいましたが、徐々に慣れて、川遊びを楽しんでいました。



ふるせビアパーティプラン

暑い日はこれ!!

生ビール

絶対販売中

うまい山形の地酒

ご予約はお早めに!

10Lセット: ¥12,000(税込)~

19Lセット: ¥17,800(税込)~

徳丸酒ふるせ 住まいる館マルトク TEL:43-3028

「車いすのまま乗車できる」

レンタカー あります!

■乗車定員6名(車いすも無料貸出中)

■特別価格にて貸出中(4時間4,000円より~)

※貸出には予約が必要です。

まずはご来店、またはお電話ください。

(有)オートランドカナダ(☎46-2530) 志茂206-1

最上町ボランティアガイド協議会による 観光学習が行なわれました



最上校の1、2年生を対象に、町の産業の一つである観光について、最上町ボランティアガイド協議会による授業を行っていただきました。6月21日に座学で町の観光の特色や魅力について、板垣善悦さんに講演をいただき、7月20日、24日は現地研修として「喜至楼迷宮館内巡り」を行ないました。

館内は歴史ある珍しいものがあふれており、驚きを隠せない生徒たちはガイドさんの説明にうなずき、時にはユーモアあふれる話に笑いもおき、有意義な時間となりました。今後は、町の観光について共に検討していきたいです。

町民ゴルフ大会が大石田ゴルフ倶楽部で 開催されました

6月25日、61名の参加者を迎えて第20回町民ゴルフ大会が、大石田ゴルフクラブで開催されました。当日は厳しい暑さの中、日頃の練習の成果を存分に発揮し、好スコアが続出した大会となりました。優勝・シニア優勝は荒木克晋さん、準優勝は高橋順一さん、第3位は沼沢 力さん、レディース優勝は増山礼子さんとなり、表彰式では皆さんの健闘を称えました。来年も多くの皆さんの参加をお待ちしています。



写真左: 優勝した荒木克晋さん

人権擁護委員に 中嶋さんが任命されました

7月1日より新しく中嶋寿幸氏(若宮)が人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済しています。町内では、5名の人権擁護委員の皆さんが、『人権の花』や『人権教室』などを通した啓発活動を行なっています。



写真中央: 中嶋寿幸さん

最上中学校で 人権教室が行なわれました

7月11日、最上中学校1年生を対象に人権教室が行なわれました。「なぜいじめはなくなるのか」などについて生徒同士で話し合い、人権擁護委員のみなさんが話し合いをサポートするような形で授業が進められました。活発な意見交換が行われ、いじめを無くしたいという強い思いを、クラス全員で共有するとともに有意義な時間となりました。





写真右：新庄営業所長 阿部 進 氏

企業版ふるさと納税、感謝状を贈呈

株式会社日本衛生工事様から企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただいたことに対して、感謝の意を表するため、8月7日に感謝状を贈呈いたしました。この度の寄附は、当町の地方創生事業のうち、「道の駅もがみ整備事業」に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

※「企業版ふるさと納税」とは、本社が町外にある企業より、寄附を通じて最上町を応援していただける制度です。

たらふく工房が新庄地区食品衛生優良施設表彰を受賞

5月23日に新庄保健所の推薦を受け、新庄地区食品衛生協会会長より表彰されました。この表彰は食品の安全・安心・衛生に対する取り組みに常に努力して、営業を始め5年以上経過している方に贈られるものです。「たらふく工房」は閉校となった旧満沢小学校を利用して地域を盛り上げるために、満沢地区の主婦7人が立ち上げた農家レストランで、開業から7年目を迎えました。お客さんの笑顔が生きがいで、幸せづくりのお手伝いできたかと、日々頑張っています。



田代峠航空自衛隊慰霊碑奉仕活動

最上町自衛隊家族会では、田代峠にある航空自衛隊慰霊碑の清掃奉仕活動を毎年行っています。この慰霊碑は、1968年1月17日に当地で殉職された、航空自衛隊松島基地所属の紙西一等空尉のために建立されたものです。

今年は、8月8日に活動を行ってまいりました。暑い中ではありましたが、ご協力くださった皆様ありがとうございました。



最上町の人口 7月 戸籍の窓口

全人口 7,664人（うち、外国人90人）
男 3,759人（うち、外国人12人）
女 3,905人（うち、外国人78人）

世帯総数 2,781世帯

生れた人 0人
亡くなった人 8人

転入 14人（うち、外国人 10人）
転出 5人（うち、外国人 0人）
前月比 1人増



受賞した笠原勝義さん（立小路）

もがみさくらんぼ品評会で最優秀賞、最高糖度賞を受賞

7月24日に、令和5年度もがみさくらんぼ品評会の表彰式が行なわれました。最上町からは笠原勝義さん（立小路）が最優秀賞と最高糖度賞（最高糖度：23.1度、出品者の平均糖度：19.7度）を受賞しました。

これで笠原さんは、最優秀賞は5回目、特別賞は3回目の受賞となります。品評会には高品質のさくらんぼが多数出品され、審査員から高い評価を得ており、笠原さんは100歳までさくらんぼ栽培をがんばりたいと意気込んでいました。

スキー強化指定選手の認定式が行なわれました

7月27日、「令和5年度のスキー強化指定選手認定式」が行なわれました。認定証書の授与は、アルペンとクロスカントリーが合同で執り行われ、今年度は9人の選手が認定を受けました。

認定証交付後に中嶋教育長からは「夏の間、しっかりとトレーニングに励み、全国大会などで結果を残せるように頑張ってもらいたい」と激励の言葉が送られました。強化指定選手の活躍をご期待申し上げます。



社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

第73回となる今年も、最上町保護司会の皆様が来庁され、「安全で安心な国づくりにおいて、他者への思いやりを基本とし、誰一人取り残さない社会を構築することが重要です。」などと記された内閣総理大臣メッセージを読み上げ、高橋町長に手渡しました。



夏休み自主学習会を実施 もがみサポート塾

8月1日から8月3日までの3日間、最上中学校の全校生徒を対象に、中央公民館にて学習会が行なわれました。この学習会は、例年夏休み直後の3日間で実施され、夏休み中の課題やテキストを持ちより自主的に学習に取り組む活動です。

講師には、学習を支援する大人の方々や、最上中学校を卒業した高校生もサポート塾をお手伝いしてくれました。高校生たちは問題の解き方や学習の取り組みに対して、アドバイスを行っていました。今後も継続を願う素晴らしい活動です。



最上町「地域の宝」に新たに3件が登録！

最上町「地域の宝」登録事業は、これまで地域に慣れ親しまれ、受け継がれてきた有形・無形の文化資源や自然を将来にわたって継承していくとともに、地域資源を再発見し保存・活用することで、地域における文化の振興及び町民の伝統的な文化に対する意識の向上を図ることを目的としています。

今回新たに3件が最上町「地域の宝」に登録されましたので、ご紹介します。

登録番号第4号 ◆有形 記念碑 前森開拓記念碑（前森3区）

食糧難で始まった戦後の昭和21年5月、緊急開拓の一環として、先人たちは前森原に入植し、開墾に挑んできました。軌道に乗るまでの約10年間は、大変な苦労があったといえます。こうした戦後開拓の足跡を残すため、昭和51年5月に開拓30周年記念として「前森開拓記念碑」が建てられました。当時は12戸が入植しましたが、このうち11戸が現在も農業を営んでいます。



登録番号第5号 ◆無形 芸能 黒澤餅搗き唄保存会（黒沢）

明治以前より伝えられたとされる黒澤餅搗き唄。今では、他の地域からも声が掛かるなど、保存・継承に向けて活動を行っています。はじめに、「こねり唄」に合わせて、男衆4人のこねり手により蒸かした餅米がこねられ、その後「搗き唄」に合わせて、男衆3人の搗き手と1人の返し手により餅が仕上がります。餅は、女衆のきり手が両手で手際よく切り、その様は見所の一つとなっています。



登録番号第6号 ◆複合 建造物、記念碑、自然 しぐらみの里（ふれあいの里 親倉見環境保全会）

1903年、先人たちはシグラミ原に開拓に入り親倉見集落を築いてきました。最も多い時で、15戸、100人ほどになりました。その後、全国でも数少ない過疎地域に指定されたため、1975年に現在の清水町に集団移転しました。25年が経過した後、「しぐらみの里」と名付けられました。そこには、山ノ神社をはじめ幹回り4.5mの大赤松、親倉見集落移転25周年事業石碑があり、約50年経過した今も、保全会では自然豊かな農村景観を守り続ける活動に取り組んでいます。



農業委員会

会 長

会長職務代理者



庄司千賀夫

東法田/69歳/5期



渡部 浩栄

月楯1/69歳/5期



大場 充

上鶴杉/62歳/2期



松田満理子

月楯2/64歳/1期



佐藤 純一

立小路/47歳/1期



佐藤真由美

本城2/63歳/1期



中島日出夫

若宮/66歳/2期



後藤 一男

野頭/76歳/10期



藤畑 智

新田1/47歳/2期



小林 吉雄

沢原/71歳/8期



渡邊 紀栄

満沢1/67歳/7期



五十嵐一春

向町5/69歳/4期

任期満了に伴い、令和5年7月20日に12名の農業委員が町長より任命されました。
また、同日開催の第1回最上町農業委員会総会において、会長に庄司千賀夫委員（東法田）が選出され、農地利用最適化推進委員6名が委嘱されました。任期は令和8年7月19日までの3年間で、農業委員会は、農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化の推進、耕作放棄地の発生防止と解消、新規参集の促進）を中心に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申などを行います。
農地に関するご相談は、ぜひお近くの農業委員・推進委員までお寄せください。

農業委員の新体制を紹介します

農地利用最適化推進委員（地区担当）

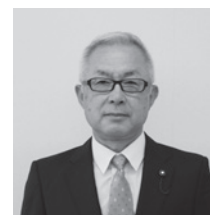


菅 幸志

下小路/43歳/2期

担当地区

赤倉、一刎、万騎ノ原、明神、堺田・松根・鍋倉、笹森、新田、下小路、立小路



須貝 英幸

十日町/67歳/1期

担当地区

本城、十日町、向町、沢原、黒沢、源佐原、赤沢・清水沢・開拓



佐藤さゆり

満沢2/52歳/1期

担当地区

上満沢、中満沢、下満沢、細ノ原、萱場、月楯



齊藤 和広

下白川/48歳/3期

担当地区

若宮、下白川、東法田



菅 惇

法田下/54歳/2期

担当地区

野頭、法田中、法田下、志茂



高橋 孝彰

白川端/36歳/1期

担当地区

大堀・白川端、横川、清水町、上鶴杉・薬師原、鶴杉、瀬見



8月号 くらしの情報

お知らせ

『やまがた縁結びたい』
による結婚相談会

- ▼日時 9月2日（土）
午後1時～午後4時45分
- ▼場所 やまがたハッピーサ
ポートセンター最上支所（新
庄市）
- ▼対象 結婚を希望する方
またはそのご家族（予約制）
- ▼内容 婚活の仕方、お見合
い相手の紹介などについての個
別相談
- ▼参加費 無料
- お問い合わせ先
やまがた
ハッピーサポートセンター
☎023-687-1972

秋の交通安全県民運動 が始まります

9月21日（木）9月30日
（土）まで「秋の安全県民運
動」が実施されます。（※9
月30日（土）は「交通事故
死ゼロを目指す日」です。）

▼運動の重点

- ①子どもと高齢者を始めとす
る歩行者の安全の確保
 - ②夕暮れ時と夜間の交通事故
防止及び飲酒運転等の撲滅
 - ③自転車等のヘルメット着用促
進と交通ルール遵守の徹底
- ※日没が早まるこれからの季
節は、夕暮れ時から夜間にか
けての交通事故に注意が必要
です。日頃から交通ルールを
守り、正しい交通マナーを実
践しましょう。

○お問い合わせ先
総務企画課危機管理室
☎43-2111

新庄市夜間休日診療所 の機能が新・県立新庄 病院に移転

新・県立新庄病院に「地域
救命救急センター」が新設さ
れ、下記の時間帯は医師会か
ら派遣される医師が軽症患者
を診察します。これに伴い、
市夜間休日診療所は廃止され
ます。

▼診療場所

県立新庄病院地域救命救急
センター内の診療室

▼診療医師

新庄市最上郡医師会所属
の派遣医師

▼診療開始日

令和5年10月4日（水）

▼診療時間

- ◎夜間（月曜日～土曜日）
午後7時～午後9時
- ◎休日
（日曜日・祝日・年末年始）
午前9時～午後5時
- ※この時間帯以外は、病
院医師が診察します。

○お問い合わせ先
新庄市健康課
母子保健推進室
☎29-5790

県内にUターンする方の 奨学金返還を支援

▼山形県にUターンする方
の奨学金返還を支援しま
す！（Uターンをお考え
の社会人の皆さんへ）

最上町では、将来の担い手
となる若者の県内回帰・定着
を促進するため、一旦県外で
就業した若者が、県内にUター
ンし就業・定住した場合に、
奨学金の返還を支援する事業
の対象者を募集します。

▼募集内容 ◇Uターン促
進枠（募集予定人数…山形
県全体で40名）
◎対象奨学金…日本学生支

募集



2024年度日本福祉 大学自治体推薦入学 試験のご案内

○お問い合わせ先
農林振興課農業振興室
☎43-2150

畜産研究所・参観デー の開催

- ▼日時 9月2日（土）
午前10時～午後3時
- ▼場所 山形県農業総合セン
ター畜産研究所（新庄市）
- ▼開催テーマ 「見て、触れて
食べて」畜産研究所・参観デー
- ▼開催内容
①最新の研究成果照会・展示
（屋内）②ホルスタイン種（成
牛）、ヒナの展示③やまがた地
鶏の試食④研究所内生乳で製
造したチーズの試食⑤鶏卵・
牧草ロールお絵描きコーナー⑥
大型トラクター展示コーナー
- ※試食コーナーは、数に制限
がありますのでお早めにお越
しください。

○お問い合わせ先
山形県農業総合研究
センター畜産研究所
☎23-8811

読み込むとHPへ
アクセスできます
QR code



○お問い合わせ先
教育文化課学校教育室
☎43-20053

山形県町村会職員 採用試験

▼職種 一般事務（大学卒
業程度）

▼採用予定日

令和6年4月1日

▼採用予定人数

若干名

▼試験日

令和5年10月22日（日）

▼試験会場

山形県自治会
館（山形市松波4丁目1番15
号）

▼受験資格

昭和59年（1984年）4
月2日移行に生まれた方で、
学校教育法による大学（4年
制）を卒業した方（令和6年
3月31日までに卒業見込みの
方）、普通自動車免許を有す
る方（採用後直ちに同免許を
取得できる方）

▼申込受付期間

令和5年8月4日（金）～
令和5年10月4日（水）16時
まで

○お問い合わせ先
山形県町村会事務局
☎023-631-5155

山形県市町村職員退職 手当組合職員採用試験

▼採用予定人数

上級行政職 1名

▼受験申込の受付期間

令和5年9月1日（金）か
ら10月16日（月）◇受付時間…
8時30分から17時15分まで

援機構第一種・第二種奨
学金、最上町教育振興修
学資金

▼募集期間

7月3日（月）から
10月31日（火）まで

▼支援額

上限60万円
（県内に居住・就業後3年
の間に奨学金の貸与機関に
返還した額）

※詳しい応募要件や申込方法
などは、ホームページをご覧く
ださい。

読み込むとHPへ
アクセスできます
QR code



○お問い合わせ先
最上町教育委員会
教育文化課学校教育室
☎43-20053

第4回『縄文の女神』 ペーパークラフトデザイ ンコンテスト 作品募集

最上川流域3町村（舟形町・
最上町・大蔵村）が合同開催
するもので、国宝「縄文の女
神」のペーパークラフト製作を
通じて縄文文化の発信を行い、
住民の皆さんの興味・関心を
引き出すことを目的としてい
ます。

▼一次試験

◇日時…11月5日（日）

一般教養試験及び適性検査

◇場所…山形県自治会館
4F「大会議室」

▼二次試験

12月中旬を予定しています

読み込むとHPへ
アクセスできます
QR code



○お問い合わせ先
山形県市町村職員
退職手当組合
☎023-631-0650

令和6年度有害鳥獣 被害対策推進事業費 補助金の募集

▼事業内容

電気柵・ワイヤーメッシュ柵
一式の購入経費の補助

▼対象 農作物を栽培してい
る農業者個人や団体等

▼補助要件

○電気柵の安全講習を受講
すること（※今年度から
出荷証明書は必要ありま
せん。）

▼補助率等

購入経費の1/2以内
（補助上限20万円）

※令和6年度に事業の利用を
希望される方は、令和5年9
月30日までに電気柵・ワイ
ヤーメッシュ柵の見積書を持参

▼応募資格

◎小学生部門
（小学4～6年生）

◎中学生部門
（中学1～3年生）

◎一般部門
（小学3年生以下、高校
生以上）

▼応募方法 最上町中央公
民館でキット等を受けとり、
作品完成後に提出

▼参加費用
中学生以下無料
高校生以上は700円

▼応募締切
令和5年10月2日（月）

▼結果発表
10月中旬頃予定

※部門ごとに副賞あり

○主催
最上南部3町村縄文文化
発信推進会議

○お問い合わせ先
最上町中央公民館
☎43-2350

「野生きのこ」の放射性 物質にご注意ください

これから「野生きのこ」の
シーズンを迎えるにあたり、
次の事項に留意してください。
①「野生きのこ」は、生育環
境の違いにより放射性物質
の濃度にばらつきがあるた
め、出荷前の検査を徹底し、
安全性を確認してからご出
荷ください。なお、出荷には、
「フリーマーケットサイト等

して農林振興課までご相談く
ださい。

○お問い合わせ先
農林振興課農業振興室
☎43-2150

自衛官採用試験

▼採用種目 一般曹候補
生、自衛官候補生

▼募集資格 18歳以上33歳
未満

▼受付期間

令和5年9月5日（火）まで

○お問い合わせ先
自衛隊新庄地域事務所
☎22-15057

解体工事 大場組

のことなら
にお任せください！

申請手続き・補助金申請・近隣挨拶などお手伝いいたします。
もちろん、見積無料！お気軽にお問合せください。



お問合せ先
㈱大場組 0233-44-2424
担当 長瀬 (080-2813-9578)



宝くじの助成金で十日町公民館の備品を整備

十日町地区会では、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業により、公民館の備品の整備を行ないました。

◇事業主体 十日町地区会
◇助成額 130万円
◇事業期間
令和5年4月1日～令和5年7月31日
◇事業内容
十日町地区公民館にエアコン・テレビ・ブルーレイプレーヤー・冷蔵庫の設置

同地区会では、公民館を会場にサロン活動や集落のイベントなど開催しており、夏場における熱中症対策としてエアコンの設置と、冷蔵庫を購入。その他、動画・画像を利用してサロン活動などについて説明することで参加者がスムーズに理解できるよう、ブルーレイプレーヤーとテレビを購入しました。今回の備品の整備により、安全かつ安心な公民館活動を行なうことができ、十日町地区の活性化につながるものと期待されます。



◇お問い合わせ 総務企画課 まちづくり推進室 ☎43-2261

最上町議会議員選挙の結果 令和5年8月6日執行

■有権者数 6,651人
(男:3,279人 女:3,372人)

■投票状況
投票者数:5,304人 投票率:79.75%
有効投票:5,259票 無効投票:45票

各投票所ごとの投票率 (%)

投票所	男	女	平均
1 向町	78.59	78.69	78.64
2 東法田	92.00	90.23	91.09
3 満沢	87.60	89.84	88.72
4 新田	70.83	74.75	72.76
5 赤倉	82.10	79.70	80.77
6 堺田	79.07	81.82	80.26
7 瀬見	82.88	81.42	82.14
8 大堀	77.03	86.67	81.74
9 清水町	79.82	82.77	81.28
10月 楯	77.38	76.51	76.95

◇お問い合わせ 最上町選挙管理委員会 ☎43-2111

	候補者名	年齢	現・新・元	得票数
当	栗林 浩子	60	新人	551.000
当	佐澤 浩	71	現職	506.527
当	須貝 康幸	48	新人	495.000
当	伊藤 一雄	73	現職	491.552
当	山崎 香菜子	40	新人	479.000
当	佐藤 義男	72	現職	463.537
当	菅 孝	60	現職	420.000
当	宮本 浩	39	現職	407.031
当	佐藤 正市	61	新人	398.462
当	尾形 勝雄	71	現職	397.447
次	岸 錦也	65	現職	297.000
次	小林 守	56	現職	264.000
	菅 博	70	元職	88.441

按分により切り捨て 0.003票



最上町ホームページ
<https://town.mogami.lg.jp/>

information

募集



山形県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」募集

▼「やまがた縁結びたい」とは 結婚を希望する独身男女の出会いの機会を拡大するため、県に登録してボランティアで仲人活動を行っている、現在県内の約50の個人・団体が登録しています。

▼活動内容 ◇相談者からの相談対応◇相談者にふさわしいお相手探し(定期的な情報交換会への参加)◇お見合いの設定

▼活動経費 活動に対する報酬はありませんが、活動経費の一部(お見合い一件につき500円)を支援金として交付します。

▼登録要件 所定の研修を受講すること。

▼その他 詳細については、「やまがた縁結びたい」のホームページをご覧ください。

読み込むとHPへアクセスできます

QR code



◇お問い合わせ・申込先
やまがたハッピーサポート
センター事務所
☎023-615-1875

最上病院医療職員採用試験 (随時募集)

当院では、医療スタッフを随時募集しています。地域医療を頑張りたい方、是非ご応募ください。

◇採用職種と人数

採用職種	採用予定者数
薬剤師	1名
看護師 准看護師	9名

◇試験内容

- ・作文試験
- ・面接試験

詳しくはHPで！



◇給与等について

職 種	給与表	新卒初任給額
薬剤師	医療2	216,600円～
看護師	医療3	207,800円～
准看護師	医療3	171,800円～

なお、学歴、その他職歴等一定の条件を満たすことで、初任給額に加算されます。(例:看護師免許取得後、看護師経験5年の方を採用する場合の初任給は239,500円～です。)

◇その他手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、期末・勤勉手当、寒冷地手当、宿日直手当、特殊勤務手当【深夜勤務3,550円/回、準夜勤務3,100円/回】、時間外勤務手当が、要件を満たす場合支給されます。

薬王堂と一緒に働きませんか？

Y* 山形最上店
YAKUODO

スタッフ募集中!

従業員優待
いつでも
WAICAポイント
5倍

賞与支給
あり

ライフスタイルに合わせてシフトが選べる！

下記お問合せ先または採用HPからお気軽にご応募ください。

〈お問合せ先〉
TEL 0120-901-815

スマホから
簡単応募

〈採用HP〉
<https://www.yakuodo.co.jp/recruitment/>



紅梅荘・最上ふれあい学園

やすらぎ・さくら

急募！ 職員募集

若い世代・子育て世代・中高年世代のニーズに合わせて働いて、やりがいを感じられる仕事です。ご応募お待ちしております。

〈募集職種〉 介護員、支援員、看護職員、調理員

〈採用人数〉 3～4名(正職員・臨時職員 等)

〈待遇〉 社会保険、通勤手当給、夜勤手当(1回5千円)退職金制度、資格取得助成制度等

★賞与年2回(正職員4.4ヶ月以内、臨時職員3ヶ月以内)

★処遇改善手当(昨年度実績45万円以内)
L、職種・資格に応じて支給します。

お問い合わせ

社会福祉法人豊寿会 法人事務局:紅梅荘 担当/石山
(〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町73-3)
TEL:0233-43-3661 / FAX:0233-43-3663
※お気軽にご相談、ぜひ一度見学においでください。
Uターン、Iターンの方もご相談ください。



お盆の PhotoSnap



8/14 町内野球大会



優勝 野頭チーム 【最高殊勲選手】 柴崎 優心さん (野頭チーム)
準優勝 向町チーム 【最優秀選手】 五十嵐 琉さん (向町チーム)

8/14 「盆の市」



8/15 「前森高原サマーフェスティバル」

